

## 幽玄の世界に魅了され30年

専業農家として農業を営み、息子に経営移譲してからは趣味を増やしたいと思っていました。そのようなとき、地元の先生から声をかけてもらって始めたのが水墨画です。

日本水墨画協会主催の作品展で入選したときはうれしかったです。今は市内3つの教室で月に5回水墨画を教えています。水墨画を描く際は「濃淡を大切に、幽玄の世界を表現できるよう心掛けています」

「ここで満足と思うと成長が止まってしまうので、生涯水墨画を続けていきたいです」



北平田・牧曾根

五十嵐 金治 さん (83)



鳥海・宮内

梅津 陣 さん (29)

## 「米どころ日本一」を目指して

東京の大学を卒業後すぐに就農しました。米農家に生まれましたが手伝ったこともなく、全く初めての経験でした。何度も失敗を重ね、「最近やっと自分のペースをつかめてきた気がします」

就農当時より年々作付面積が増えている中、心掛けていることは「経営発展のために、さまざまな条件のほ場をいかにシステム化できるかを意識しています」

庄内を「米どころ日本一」にすることが目標。そのためにも「従業員を雇える経営や栽培技術を磨くことに力を入れたいです」

## ピアノが大好き

好きな科目は音楽です。4歳からピアノを習い始め週に1回教室に通っています。「ピアノ教室の先生からやさしく、楽しく音楽を教えてもらい演奏や歌うことも大好きになりました」鶴岡でのピアノ発表会ではお気に入りのドレス衣装で演奏します。

休み時間は自分で作ったオリジナル曲を友達の前で演奏したり、韓国のアイドルグループや韓国ドラマ、洋服の話をしてしています。

将来の夢は「今もしているのですが、家族みんなで仲良く暮らすことです」



浜中・1区

奥山 杏樹 さん (12)

## 読者からの おたより

家の前の花壇に何を植えようかな。これから植えられる花とか野菜はどんなものがありますか？

(新堀・山木さん)

何を植えるか選ぶのも楽しいですね。野菜はホウレンソウやアスパラ菜などの軟弱野菜、花はコスモスやストックはいかがでしょうか。

6月号の表紙、広々とした庄内平野が想像されて良かったです。

(吹浦・佐藤さん)

6月号表紙の種まき爺さんを見て心なごんでいます。とてもすてきな表紙ですね！

(松山・桜田さん)

6月号の表紙は北平田で撮影しました。ところどころ白い雪が残っているのが、山の形の美しさを際立たせていると思います。種まき爺さんのほかに、種まき婆さんもいると聞きました。さまざまな楽しみ方がありますね。

くらしと福祉に載っていた「乳和食」の話、とても興味があります。勉強だと思い早速申し込みました。

(本楯・堀さん)

「乳和食」は牛乳のうま味成分を料理に生かすことで減塩につながるというのが特徴です。みそ汁に牛乳を加えるなど、身近なところから取り組んでみてはいかがでしょうか。意外にも牛乳の味が強くならずに自然に感じますよ。

田植えや大豆播種の大きな農作業を終えて、ひと段落です。新緑の季節と相まって日帰り旅行か日帰り入浴にでも行きたいものです。

(新堀・園部さん)

日々の作業お疲れ様です。ゆっくりお出かけできましたか？これからは熱中症など暑さ対策が重要な季節になります。暑さに負けず、農作業事故にも気を付けて夏を乗り切りましょう。

